

特 集

合併から 10年を振り返って

平成15年6月6日に野田市と関宿町が合併し、平成25年は10周年の節目を迎えました。合併を機に、快適で住みやすい「ふるさとづくり」を目指して、一日も早く新市の一体感が醸成されるよう、市民の皆さんとともに策定した新市建設計画に基づき、いちいのホール整備、まめバス運行、消防署関宿北出張所、総合公園陸上競技場、関宿総合公園体育館の整備、清水公園駅東口開設や梅郷駅周辺の整備などを合併特例債を活用し、実施してきました。

また、市内全小中学校の耐震化や関宿地区の浸水対策として六丁四反水路整備などの事業も現在、完成に向けて着々と進めています。

加えて、全国的な課題となっている少子高齢化問題に対応するため、エンゼルプランやシルバープランを策定し、待機者解消に向けた民間活力による保育所や特別養護老人ホーム整備なども行ってきました。

なお、東日本大震災による放射能対策などで震災復旧・復興事業を優先せざるを得なかった地方自治体を救済する目的で、国は合併特例債の発行期限を10年間延長しました。

市政を取り巻く環境は依然として厳しい状況ですが、これらの貴重な財源を有効活用するとともに行政改革の推進を図り、市民の皆さんにとってより住みやすいまちづくりを進めていきます。

